

寒さを楽しむウィンターキャンプ～冬のサイクリングやテント泊～

県立南薩少年自然の家

小学5・6年生が、寒さの厳しくなる12月に20kmサイクリングや一人きりのテント泊に挑戦しました。

概要

〔期日〕 令和2年12月5日（土）～6日（日）
〔趣旨〕 冬季の野外活動やテント泊を通して、南薩の豊かな自然を知るとともに、心身の強さと他人を思いやる心を培い、よりよい人間関係づくりを学ぶ機会として実施しました。

〔参加者〕 小学生4人（5年生3人、6年生1人）

〔場所〕 南薩少年自然の家、吹上浜サイクリングロード

〔日程〕	1日目	2日目
	開会行事 サイクリング ビーチコーミング テント設営 野外炊飯（カレー） キャンプファイヤー	テント撤去 創作活動 閉会行事

活動の実際

サイクリング

「南薩少年自然の家～入来浜、往復20Km」



【ゴール後の様子】

子どもたちは、往復20kmのサイクリングコースを冬の冷たい風を受けながら、入来浜まで自転車を漕ぎました。そして、雄大な景色を見ながら弁当を食べ、全員最後まで走りきりました。

ビーチコーミング

弁当を食べた後、青に染まる空と海のもと、子どもたちは入来浜に降りて、翌日の創作物をイメージしながら貝殻や流木などの漂着物を集めました。



【砂浜の子どもたち】

テント設営

子どもたちは、「つどいの広場」に4人で協力してテントを立てました。そして、夜は1人で一晩過ごしました。



【テント設営】

創作活動



【創作活動の様子】

子どもたちは、最後の活動として、前日のビーチコーミングで収集した貝殻や流木を杉板に接着する「流木デコ」を作りました。

一人一人の2日間の活動の思い出を詰め込んだ個性豊かなフォトスタンドができあがりました。

参加者の感想

○ テントには一人だったけど、暖かくよく寝ることができたし、寝袋に寝る貴重な体験ができた。

○ サイクリングは少し疲れたけど、楽しかった。風が気持ちよかった。また参加したい。



【流木デコ】

成果と課題

（成果）

新型コロナウイルス感染症の影響で、少人数での実施となりましたが、各活動担当が少人数ということ踏まえた活動を実践したことで、子どもたち相互及び職員との関わりが深まり、双方の満足度の高い事業となりました。

（課題）

冬季に行う宿泊体験活動の効果的な実施について、安全面も含め検討していきたいと考えています。